

調査の概要

1 調査要領

(1) 調査の目的

日本看護協会は、昭和40年以来4年毎に会員の属性・労働実態などを把握する「看護職員実態調査」を実施してきた。今回はその第9回にあたる。保健医療を取り巻く急激な変化を看護職者(会員)はどのように捉えているかを把握するため、今回の調査では、年齢、職歴、労働条件など、経年的に調べる項目に加えて、次の特集テーマを設けた。

- 1) 二交代制勤務
- 2) 喫煙習慣
- 3) 本会が実施している資格認定制度についての理解
- 4) 社会の変化と将来の希望
- 5) 日常業務上ぶつかる悩みと看護の倫理
- 6) コンピューターの利用

これらに関する意識と実態を把握し、本会活動の基礎的資料とする。

(2) 調査の対象および対象の抽出方法

1997年7月末現在、日本看護協会会員449,278名を母集団とし、1997年度会費納入票を原簿として層別系統抽出により業務別に抽出し、10,913名を調査対象者とした。

必要標本数は「'93看護職員実態調査」による平均年齢およびその標準偏差から、以下のように算出した。

- | | |
|-------------|--------------------|
| ○会員全体の平均年齢 | : $m = 36.3$ 歳 |
| 年齢の標準偏差 | : $\sigma = 10.17$ |
| 会員数 | : $M = 449,278$ 名 |
| ○保健婦・士の平均年齢 | : $m_1 = 37.2$ 歳 |
| 年齢の標準偏差 | : $\sigma = 9.56$ |
| 会員数 | : $M_1 = 22,234$ 名 |
| ○助産婦全体の平均年齢 | : $m_2 = 36.8$ 歳 |
| 年齢の標準偏差 | : $\sigma = 11.02$ |
| 会員数 | : $M_2 = 16,983$ 名 |
| ○看護婦・士の平均年齢 | : $m_3 = 35.0$ 歳 |

年齢の標準偏差： $\sigma = 9.89$

会 員 数： $M_3 = 342,670$ 名

○准看護婦・士の平均年齢： $m_4 = 40.3$ 歳

年齢の標準偏差： $\sigma = 10.04$

会 員 数： $M_4 = 67,391$ 名

N = 必要標本数

δ = 目標相対精度0.01, 信頼水準95%

M = 母集団

として,

$$N = \frac{M}{\frac{(M-1)(\delta m)^2}{(2\sigma)^2} + 1} = \frac{449,278}{\frac{(449,278-1)(0.01 \times 36.3)^2}{(2 \times 10.17)^2} + 1} \approx 3,118$$

ネイマンの最適配分により各職能別の標本数を次のように算出した。

保健婦・士：必要標本数 = N_1

$$N_1 = N \times \frac{M_1 \times \sigma_1}{M_1 \times \sigma_1 + M_2 \times \sigma_2 + M_3 \times \sigma_3 + M_4 \times \sigma_4}$$

$$= 3,118 \times \frac{22,234 \times 9.56}{22,234 \times 9.56 + 16,983 \times 11.02 + 342,670 \times 9.89 + 67,391 \times 10.04} \approx 148$$

助産婦：必要標本数 = N_2

$$N_2 = N \times \frac{M_2 \times \sigma_2}{M_1 \times \sigma_1 + M_2 \times \sigma_2 + M_3 \times \sigma_3 + M_4 \times \sigma_4}$$

$$= 3,118 \times \frac{16,983 \times 11.02}{22,234 \times 9.56 + 16,983 \times 11.02 + 342,670 \times 9.89 + 67,391 \times 10.04} \approx 131$$

看護婦・士：必要標本数 = N_3

$$N_3 = N \times \frac{M_3 \times \sigma_3}{M_1 \times \sigma_1 + M_2 \times \sigma_2 + M_3 \times \sigma_3 + M_4 \times \sigma_4}$$

$$= 3,118 \times \frac{342,670 \times 9.89}{22,234 \times 9.56 + 16,983 \times 11.02 + 342,670 \times 9.89 + 67,391 \times 10.04} \approx 2,366$$

准看護婦・士：必要標本数 = N_4

$$N_4 = N \times \frac{M_4 \times \sigma_4}{M_1 \times \sigma_1 + M_2 \times \sigma_2 + M_3 \times \sigma_3 + M_4 \times \sigma_4}$$

$$= 3,118 \times \frac{67,391 \times 10.04}{22,234 \times 9.56 + 16,983 \times 11.02 + 342,670 \times 9.89 + 67,391 \times 10.04} \approx 473$$

$\therefore N = N_1 + N_2 + N_3 + N_4 \approx 3,118$

ただし、回答率を考慮してこの3.5倍のサンプル10,913名を抽出した。

(3) 調査の方法

調査は、郵送法自記式によった。対象者の勤務先に対象者本人宛に本会調査研究課より調査票を郵送し、本人が記入後、直接本会調査研究課に返送するよう依頼した(返信用封筒同封)。

(4) 調査時期

調査は1997年10月1日現在の状況について実施した。調査票の配布は、同年10月、回収締め切りは同年11月10日とした。

(5) 回収状況

有効回収票は4,636票で、回収率は42.5%であった。

実績相対精度(δ)を改めて下記のように計算すると、0.00001で目標相対精度を満たした。

会員全体の平均年齢： $m = 37.2$ 歳

年齢の標準偏差： $\sigma = 10.5$

会員数： $M = 449,278$ 人

有効回収票数： $N = 4,636$ 票

$$\begin{aligned}\delta &= \sqrt{\frac{M-N}{M-1}} \times \frac{\sigma^2}{N} \times \frac{1}{m^2} \\ &= \sqrt{\frac{499,278-4,636}{499,278-1}} \times \frac{10.5^2}{4,636} \times \frac{1}{37.2^2}\end{aligned}$$

(6) 調査の担当

本会調査研究課藤田和夫が調査結果をとりまとめたが、調査票作成にあたっては関係部署より協力を得た。

(7) 本文中の表記

本報告書では、特にことわりがない場合は、会員とは今回の調査回答者をいう。さらに、過去の調査と比較をする場合は、原則として年代をもって調査名とする(例えば、1993年日本看護協会看護職員実態調査は93年調査など)。また、本文中で〈図〉〈表〉とある場合は、本文中の図表をいい、〈統計表第〇〇表〉とある場合は、79ページ以降の統計結果表の表をいう。

2 調査票

次ページを参照。

'97看護職員実態調査

1997年10月
社団法人 日本看護協会

1-4

看護職員実態調査へのご協力をお願い

日本看護協会は、昭和40年以来4年毎に会員の実態調査を実施し、今回がその9回目にあたります。本調査は、多様な場で働く看護職員の現状を、多角的かつ継続的に把握する国内唯一のものです。

この調査では、全日本看護協会会員の中から、約40人に1名の割合で無作為に選び出した方を対象とさせていただきます。その結果、今回はあなたにこの調査をお願いすることになりました。調査票は無記名でご返送いただき、結果はすべてコンピューターで統計的に処理をいたしますので、あなたにご迷惑をおかけすることは一切ありません。お忙しいところ大変恐縮ですが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

この調査票は、1997年11月10日までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函して下さい。なお、この調査の結果は、日本看護協会調査研究報告として報告書を刊行するほか、協会ニュースやインターネット・ホームページでも概要をお知らせ致します。

***特にことわりのない限り、1997年10月1日現在の状況としてお答え下さい。**

【はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。】

問1 あなたが所属する県看護協会はどちらですか。

- | | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|
| 1. 北海道 | 2. 青森 | 3. 岩手 | 4. 宮城 | 5. 秋田 | 6. 山形 | 7. 福島 |
| 8. 茨城 | 9. 栃木 | 10. 群馬 | 11. 埼玉 | 12. 千葉 | 13. 東京 | 14. 神奈川 |
| 15. 新潟 | 16. 富山 | 17. 石川 | 18. 福井 | 19. 山梨 | 20. 長野 | 21. 岐阜 |
| 22. 静岡 | 23. 愛知 | 24. 三重 | 25. 滋賀 | 26. 京都 | 27. 大阪 | 28. 兵庫 |
| 29. 奈良 | 30. 和歌山 | 31. 鳥取 | 32. 島根 | 33. 岡山 | 34. 広島 | 35. 山口 |
| 36. 徳島 | 37. 香川 | 38. 愛媛 | 39. 高知 | 40. 福岡 | 41. 佐賀 | 42. 長崎 |
| 43. 熊本 | 44. 大分 | 45. 宮崎 | 46. 鹿児島 | 47. 沖縄 | | |

5
6

問2 あなたは、日本看護協会会員となって通算何年になりますか。協会に加入していなかった年数は差し引いてお答え下さい。

今年で 年目

7・8

問3 年齢 満 歳

9・10

問4 性別 1. 女性 2. 男性

11

問5 配属関係 1. 未婚 2. 既婚 3. 離死別

12

問6 子ども

1. いる
2. いない

→ S Q 1 お子さんの人数 人 13
14・15
→ S Q 2 一番小さいお子さんの年齢 満 歳 16・17

問7 あなたの最終学歴についておたずねします。一般学歴・専門学歴それぞれについて、最後に卒業した学校をお答え下さい。外国の学校を卒業した場合も含みますが、在学中および中途退学の場合は、最終学歴にはなりません。

一般学歴	1. 中学校 3. 短期大学 (看護系短大を含む) 5. 大学院 (看護系大学院を含む)	2. 高等学校 (高校衛生看護科も含む) 4. 大学 (看護系大学を含む) 6. 旧教育制度の学校 ()	18	
専門学歴	1. 准看護婦学校 4. 高校専攻科 (進学コース) 7. 看護短大 (3年課程) 10. 保健婦助産婦学校 (専門学校) 13. 看護系大学院博士課程	2. 高校衛生看護科 5. 看護短大 (進学コース) 8. 保健婦学校 (短大専攻科含む) 11. 看護系大学 14. 旧教育制度の学校	3. 看護学校 (進学コース) 6. 高等看護学校 (3年課程) 9. 助産婦学校 (短大専攻科含む) 12. 看護系大学院修士課程	19 20

問8 所持免許についておたずねします。保持する免許すべてに○をつけて下さい。

1. 保健婦(士) 2. 助産婦 3. 看護婦(士) 4. 准看護婦(士)	21-24
------------------------------------------------	-------

問9 看護職としての通算経験年数は何年になりますか。現在離職中の方は、離職した時点の年数でお答え下さい。

 	年目	25・26
----------------------------------------	----	-------

【あなたの職歴についておたずねします】

問10 現在のお勤め先は、勤続何年目に当たりますか。

 	年目	27・28
----------------------------------------	----	-------

問11 あなたは勤務先を変った経験がありますか。

1. 転職経験がある 2. 転職経験はない	29
--------------------------	----

→現在の勤務先はいくつ目の職場に当たりますか。なお、転勤や移動は含みません。

 	つ目の職場	30・31
----------------------------------------	-------	-------

問12 現在の主な業務にひとつだけ○をつけて下さい。

1. 保健婦(士) 2. 助産婦 3. 看護婦(士) 4. 准看護婦(士) 5. 看護教員 6. その他 ()	32
-------------------------------------------------------------------------	----

問13 現在の勤務状況について該当するものにひとつだけ○をつけて下さい。

1. 自営業 (内容)	2. 正職員
3. 臨時職員 (勤務時間が正職員と同じ)	4. パートタイマー・アルバイト
5. 産休中	6. 育児休業中
7. その他休暇・休業中 (5・6を除く)	8. 離職中 (定年退職を含む) →問28へ

33

問14 現在の職位は何ですか。

1. 非管理職 (一般の保健婦(士)、助産婦、看護婦(士)、准看護婦(士)、専任教員など)
2. 中間管理職 (病棟(外来)婦長、病棟(外来)主任、保健所・市町村の係長など)
3. 管理職 (看護部長、総婦長、副看護部長、学部長、都道府県の係長、市町村の課長など)

34

問15 現在の勤務場所に○をつけて下さい。

*社会福祉施設であると同時に、病院の許可を受けている場合は「1. 病院」として下さい。

1. 病院	2. 診療所	3. 助産所	4. 市区町村(保健センターを含む)
5. 保健所	6. 都道府県庁・各省庁	7. 検診(健診)センター・労働衛生機関	
8. 企業・事業所	9. 老人保健施設	10. 訪問看護ステーション・在宅介護支援センター	11. 社会福祉施設
12. 看護系研究教育機関	13. その他 ()		

35
36

SQ1 → 許可病床数

1. 49床以下	2. 50~99床	3. 100~299床
4. 300~499床	5. 500~899床	6. 900床以上

37

SQ2 → 病院の種類

1. 精神病院	2. 老人病院	3. 療育を主とする病院
4. リハビリテーションを主とする病院	5. 大学病院	
6. 総合病院	7. 一般病院	8. その他 ()

38

SQ3 → 病院の設置主体

1. 国立(厚生省)	2. 国立(文部省)	3. 国立(その他)
4. 都道府県	5. 市町村	6. 日赤
7. 厚生連・北海道社会事業協会・国保連合会・済生会		
8. 厚生団・船員保険会・健保連・国保組合・共済組合・全社連		
9. 学校法人	10. 医療法人・個人	11. 会社・公益法人・その他の法人

39
40

[あなたの職場の労働条件についておたずねします。自営業主の方は、問23にお進み下さい。]

問16 あなたの1週間あたりの所定労働時間は何時間ですか。所定の休憩時間は除いてお答え下さい。

週 時間 分

41・42

43・44